



学費ナビ大賞 2026 報告書

GAKUHI NAVI AWARD 2026 REPORT

発行：学費ナビ大賞選考委員会

発行日：2026年6月24日

大学サバイバル時代、本当に選ばれる大学とは

大学を取り巻く環境は大きく変化しています。18歳人口の減少が続く中、多くの大学が学生募集に課題を抱えています。さらに、財務省による大学再編に関する提言も話題となり、大学にはこれまで以上に教育力や経営力が求められる時代となりました。

こうした「大学サバイバル時代」において、大学選びは偏差値だけで判断できるものではありません。卒業まで安心して学べる環境があるか、安定した大学運営が行われているかなど、多面的な視点で大学を見極めることが重要になっています。

学費ナビ大賞 2026 は、こうした考え方のもと、全国の大学を独自の指標で評価するランキングです。

今年度は従来の評価項目に加え、「補助金」と「科研費」を新たに評価対象に追加しました。さらに私立医療系大学部門では、医療系国家資格の合格率も評価に反映しています。

学費ナビ大賞 2026 では、学費や就職率だけでは見えない大学の総合力を可視化し、受験生や保護者の大学選びに役立つ情報を提供します。

総合部門（全国私立大学）TOP10

順位	大学名	スコア
1	豊田工業大学	58.12
2	山口学芸大学	55.63
3	日本社会事業大学	55.61
4	高崎健康福祉大学	55.45
5	創価大学	55.14
6	清泉大学	54.91
7	福岡大学	54.75
8	南山大学	54.60
9	鎮西学院大学	54.56
10	宮崎産業経営大学	54.46

【ランキングから見たこと】

総合部門では、豊田工業大学が 58.12 で 1 位となりました。上位校を見ると、学費や就職率など特定の項目だけでなく、教育環境、研究力、学生募集力、経営基盤などをバランスよく備えた大学が評価される結果となりました。

また、今年度から新たに評価対象に加えた補助金と科研費は、大学の持続性や研究力を示す指標として、上位校の順位形成にも影響を与えています。

【TOP3 評価ポイント】

1 豊田工業大学

高評価項目

- 学費
- 教員1人当たり学生数
- 補助金
- 科研費

評価ポイント

学費面での優位性に加え、少人数教育による充実した学習環境と高い研究力を兼ね備えている点が、総合部門1位につながりました。

2 山口学芸大学

高評価項目

- 就職率
- 入学定員充足率
- 教員1人当たり学生数

評価ポイント

高い就職実績に加え、安定した学生募集力と少人数教育による手厚い教育環境が評価されています。

3 日本社会事業大学

高評価項目

- 学費
- 補助金

評価ポイント

家計負担を抑えた学費水準と安定した経営基盤が強みとなり、総合部門3位となりました。

部門別ランキングから見た特徴

【部門別 TOP3】

国公立大学部門		短期大学部門		私立医療系大学部門	
順位・大学名	スコア	順位・大学名	スコア	順位・大学名	スコア
① 鳴門教育大学	54.88	① 静岡県立大学 短期大学部	58.77	① 関西医科大学	56.61
② 豊橋技術科学大学	54.19	② 岩手県立大学 盛岡短期大学部	57.68	② 東京慈恵会 医科大学	56.53
③ 東京都立大学	54.10	③ 会津大学 短期大学部	57.65	③ 順天堂大学	56.26

国公立大学部門

国公立大学部門では、鳴門教育大学が1位となりました。上位校には教育系大学や専門性の高い大学が並び、安定した学生募集力や就職実績に加え、教育環境の充実した大学が評価される結果となりました。

短期大学部門

短期大学部門では、静岡県立大学短期大学部が1位となりました。上位校は定員充足率や就職率が高く、地域社会のニーズに応えながら安定した教育成果を上げている点が特徴です。

私立医療系大学部門

私立医療系大学部門では、関西医科大学が1位となりました。本部門では学費や就職率に加え、医療系国家資格合格率も評価対象としており、教育環境や研究力だけでなく、医療人材育成の成果も重視しています。

各部門の上位校に共通していたのは、特定の項目だけでなく、複数の評価指標で安定して高い評価を獲得していた点です。大学を取り巻く環境が変化の中で、教育力、研究力、学生募集力、経営基盤などを総合的に備えた大学が高く評価される結果となりました。

評価方法と学費ナビ大賞 2026 が伝えたいこと

【評価方法】

学費ナビ大賞 2026 では、大学の総合力を多面的に評価するため、以下の指標を用いてランキングを作成しました。

教育・学習環境	学生募集・経営基盤	研究・支援
学費	収容定員充足率	補助金
教員1人当たり学生数	入学定員充足率	科研費
就職率	退学率	奨学金

なお、私立医療系大学部門では、上記に加えて医療系国家資格合格率も評価対象としています

各指標の実データを偏差値化し、学費を重視しながらその他の評価項目を均等な比重で評価したうえで、総合スコアを算出しています。

※掲載しているスコアは偏差値であり、実際の割合(%)や金額ではありません。

【学費ナビ大賞 2026 が伝えたいこと】

大学を取り巻く環境は大きく変化しています。18歳人口の減少や大学間競争の激化により、大学には教育力だけでなく、研究力や安定した運営基盤も求められるようになっていきます。

そのような時代だからこそ、大学選びにおいては偏差値だけではなく、卒業まで安心して学べる環境があるか、十分な教育を受けられるか、将来にわたって安定した大学運営が行われているかを総合的に見るのが重要です。

学費ナビ大賞 2026 が、受験生や保護者、高校教員の皆さまにとって、大学を多面的に理解するための一つの参考になれば幸いです。